

# News release

2022年7月15日

## KW-6356 の開発中止について

協和キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮本 昌志、以下「協和キリン」）は、アデニン A<sub>2A</sub> 受容体の選択的な拮抗薬／逆作動作用薬である自社創製品 KW-6356（開発コード、以下「本剤」）の開発中止を決定しましたので、お知らせいたします。

これまで協和キリンはパーキンソン病を対象とした臨床試験を実施し、第 2 相試験において、単剤およびレボドパ含有製剤との併用ともに、運動症状および非運動症状に対する本剤の有効性を認めました。しかしながら、グローバル開発における規制面での見通しや開発難易度、将来的な上市までのタイムラインなどを含め総合的に検討した結果、本剤の開発を中止することを決定しました。

協和キリングループは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。